

社会科（地理的分野） 学習指導案

日 時 令和元年10月30日

場 所 音更町立共栄中学校

生 徒 1年C組 27名

指導者 教諭 小泉 佳世

1. 単元名

第3章 世界の諸地域

第3節 アフリカ州

2. 単元について

本単元は、『中学校学習指導要領』地理的分野の内容(1)世界の様々な地域 ウ「世界の諸地域 (ウ) アフリカ」に該当する単元である。各州で生活する人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それらをもとに、各州の地理的特色を理解させることを目的としている。

第3節「アフリカ州」は、広大な面積を持ち、熱帯をはさみ模式的な気候帯が南北に見られる。四大文明の1つである、エジプト文明が栄えた古い歴史をもっている。しかし、中世以降、奴隷貿易の中心となり、長い期間ヨーロッパの植民地としての歴史も併せもっている。現在は、植民地時代に共生されたモノカルチャー経済やプランテーションで経済が成立し、ヨーロッパ諸国との貿易が中心である。近年では、各種のレアメタル資源の開発が、先進国を中心として世界から注目されている。

アフリカ州の課題として、近年の急激な都市化と人口増加による、上下水道の整備の遅れや貧富の格差、貧困層の労働問題などの都市問題があげられる。また、環境問題も深刻であり、農地拡大による森林伐採、野生動物などの減少など多くの問題を抱えている。さらには国家間や国内での民族紛争や難民問題など、解決すべき課題が多く、日本を含む先進国や新興国の多くの援助が求められている。

これらをふまえ本時の学習では、児童労働に焦点を当てた。モノカルチャー経済に頼らざるを得ないアフリカ州の現状を課題としてとらえさせたい。さらに、広い視野に立つことで、課題に対する関心を高め、解決の方策を考えさせたい。また、その際、日本が先進国としての役割を他国との協力の下、どう果たしていくべきかを追及させることで、国際社会に生きる一員としての公民的資質の基礎を養うことができると考えられる。

3. 国際理解BASIC

○BASIC-1 (地理的項目-知識・理解)

児童労働の実態から、アフリカ州が抱えている現状や課題を知る。

○BASIC-2 (文化・言語的項目-体験・経験)

児童労働の現状を知り、自分の立場に置き換えて考える。

○BASIC-3 (情報発信・行動的項目-表現・意識)

モノカルチャー経済に頼る現状から、自立に向けた支援を考えることができる。

4. 単元目標

- アフリカ州の自然環境、産業、生活、文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、アフリカ州が生産物の開発や輸出のための技術を外国に頼っていることに関心を持つ。
- アフリカ州の産業と日本人の日常生活とのかかわりが深いことについて関心を持つ。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- アフリカ州の国々の他国への依存状態からの脱却が進められた過程について、多面的・多角的に考察する。
- 特定の生産品に頼る生活からの変化について、産業の変化や自立への課題と関連付けて考察する。
(社会的な思考・判断・表現)
- アフリカ州の産業の特色や問題点等を、有用な情報を適切に選択し、それらをもとに読み取る。
(資料活用の技能)
- アフリカ州について、広大な砂漠を持つ自然環境、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を、概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。
- 「特定の生産品に頼る生活からの変化」を地理的特色から理解し、その知識を身につけている。
(社会的事象についての知識・理解)

5. 国際理解目標

- 発展途上国における児童労働の実態を知る。 <世界に触れる (intake 活動)>
- 児童労働の実態の資料から、アフリカ州が抱える課題に気づき、先進国とのかかわりについて考察する。

<創造力 (outcome) 対話・ディスカッション (output 活動)>

6. 指導計画（4時間扱い）

時間	学習内容	学習目標	評価の観点				評価基準
			関	思	技	知	
1	1 アフリカ州をながめて ・ 広大な砂漠が広がるアフリカ ・ アフリカの歩み ・ 独自の言語と公用語 ・ 伝統的な文化と産業	・ アフリカ州の自然、歴史と文化、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から、基礎的・基本的な知識を身につける。	○			○	・ 広大な砂漠を持つ自然、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業の特色を概観し、理解している。 ・ アフリカ州を概観する中で、産業の変化に関心を持ち、その過程を意欲的に追及している。
1	2 アフリカの産業と新たな開発 ・ 世界に輸出されるカカオ ・ プランテーション農業と農牧業 ・ 豊富な鉱山資源 ・ アフリカ産業のしくみ	・ カカオやレアメタルの生産など、日本人の生活とかかわりが深いアフリカ産業に対する関心を持つ。 ・ アフリカ州のプランテーション農業やモノカルチャー経済の実態について、資料から読み取る。	○			○	・ アフリカ州の産業と日本人の日常生活との関わりに関心を持ち、アフリカの農業や工業を意欲的に調べようとしている。 ・ アフリカ州の農業と工業の特色や問題点を、様々な資料と関連付けて読み取っている。
1	3 アフリカの課題と展望 (本時) ・ 進む都市化 ・ 発展への課題 ・ 地域の統合と自立への交流	・ 児童労働の実態の資料から、アフリカ州が抱える課題に気づき、先進国とのかかわりについて考察する。 ・ アフリカ州の課題について、都市化、人口増加、環境問題などの視点から理解する。			○	○	・ 資料から、アフリカ州では都市化が進む一方で、農村地域との格差が異なることを説明している。 ・ 現在のアフリカがもつ課題について、都市化・人口・環境の視点をふまえて理解している。
1	■ アフリカ州の学習を振り返ろう	・ 地図や写真などの資料から、アフリカ州の学習について振り返り、整理する。 ・ アフリカ州の産業についての実態や課題を、自立に向けた努力をふまえて考察する。			○	○	・ 地図や写真などの資料を関連付けて、アフリカ州の地理的事象を理解している。 ・ 特定の産業に頼る国づくりの背景や現状、課題について、アフリカ諸国の自立の視点から、論述したり、意見交流を行っている。

7. 本時の目標

- 児童労働の実態の資料から、アフリカ州が抱える課題に気づき、先進国とのかかわりについて考察する。

＜世界に触れる（intake 活動） 創造力（outcome） 対話・ディスカッション（output 活動）＞

○ アフリカ州の課題について、都市化・人口増加・環境問題から理解する。

8. 本時の展開

授業の展開	□評価 ◆留意点
<p>・カカオ豆の提示「これは何の豆？」</p> <p>・課題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アフリカが発展するためにはどんな支援が必要なのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第1ステップ 〈intake 活動〉</p> <p>・カカオを生産している人はどのような人か考える。</p> <p>・プランテーションで労働する人の中には、子どもも含まれている実態に気付く。</p> </div> <p>・「児童の詩」をよむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第2ステップ 〈output 活動〉</p> <p>・なぜ、子どもが働くのか、理由を考える。</p> <p>・もし自分が同じように働かされていたら、何を感じるか。</p> <p>・グループ内で交流する。</p> </div> <p>・グループ活動の前に、個人の意見を書かせてから、グループ内での交流を図る。</p> <p>・アフリカ州では「モノカルチャー経済」に頼っているため、国内での経済格差が開いていることに気付く。貧困から抜け出せないという課題に気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第3ステップ 〈output 活動・outcome 活動〉</p> <p>・アフリカの人々が抱えている課題について、どのような解決方法があるかを考える。</p> <p>・グループ内で交流する。</p> </div> <p>・「フェアトレード」についての説明をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第4ステップ</p> <p>・私たちは、アフリカの国々に対してどのようにかかわっていけばよいのだろう。</p> </div> <p>・アフリカ連合（AU）の結成について説明をする。</p>	<p>◆全員にカカオ豆を配布</p> <p>◆個人で考える</p> <p>◆ワークシートの配布</p> <p>□児童労働の実態を知ることができたか。</p> <p>◆少人数のグループで交流する。</p> <p>□自分に置き換えて考えることができたか。</p> <p>◆貧困から抜け出せず、児童労働がなくなる現状に気付く。アフリカの課題の人口増加、経済格差に注目させる。</p> <p>□解決方法について自分なりの意見をもつことができるか。</p> <p>◆生産者の労働に対し、見合った金額で取引をすることで、収入が安定する。</p> <p>□先進国としてどのようにかかわるかを考えることができたか。</p>

P78 ③アメリカの課題と展望

1年 組 番 氏名

課題 「アメリカが」発展する下には、どんな支援が必要か? 3つ

「ものすごく大変な仕事をする小さな手」
それは家族経営のカカオ農園の手伝いからはじまった
家族の面倒をみななければならぬ母のため
早くはカカオ農園で仕事をするようになった
カカオ農園でものすごく大変な仕事をする小さな手
~中略~
お隣いだから誰か助けて
ほくたちの導線を取り戻すのを助けて
ほくたちの権利を守るのを助けて
学校に行って教習を受けれる権利
どうが勇氣を出して発言してほしい
どうが勇氣を出して助けを求めているひとたちを助けて欲しい
声がかき消されてしまっているひとたちを
聞いて苦しくて息ができなくなっている
こんな毎日じゃんど切りしている
距離の縮みやめさせる
ほくたちは、ものすごく大変な仕事をしている、小さな手だ

① この詩を書いた人は、
いくつぐらいの人がいる?
() 才

② なぜ、この人は、
働かなくてはなら
ないのだろう?

・自分の意見を書こう。
・自分の働かなくては
ならないか? どう思うか?

③ グループ内の意見を交流してみよう。

・働く理由は何だろう?
・働かなくては どう思う?

アメリカの経済 =

→意味 限られた () での () の生産
と輸出において成り立つ経済。

なぜ「貧困から抜け出せていないのか」
貧困以外にもアメリカの課題は、何かあるだろうか?

① アメリカの人々 が抱える 課題の 解決方法を考えよう。

② 貧困の連鎖を切るには、どうしたらいい?
③ 「アメリカが」できることは何かあるか?

★アメリカも努力している。
の 研究
・政治、経済を、統合。
・貧困の撲滅
・世界市場へ接近
などを目指している。
・日本と、個人とでも 考えよう。